2017.6.16　総合情報センター運営委員会
2017.6.19　教学委員会
2017.6.21　教員懇談会

Turnitin 全学運用におけるルールの策定について

標記、剽窃検知・文法チェックシステムである Turnitin は、これまで教学面では大学院担当教員ならびに大学院生のみで利用していたが、2017 年度より全学導入を決定した（2017 年 1 月 24 日大学評議会議決）。当該システムは各科目の担当教員が作成したコースのうち、稼動しているコースに登録されたアカウント数で契約金額が確定することから、今後全学で使用するにあたっては、登録数の厳格な管理が必要となる。そこで、以下の通りコース作成や学生の登録方法等具体的な運用ルールを定めたい。

1．2017 年度到達目標

全学導入に伴い、より多くの教員に Turnitin の利用法を周知し、学生のアカデミックライティングスキル向上に向けた指導に活用する。学生に向けては、各担当科目等で教員が積極的に利用することで学生の剽窃行為を未然に防ぐとともに、アカデミックライティングに関する自発的な知識の修得を促す。

2．具体的な運用について

(1) 教員登録について

まずは全教員に利用の可否をサーベイにて募り、利用を希望する教員のアカウントを事務局（アカデミック・オフィス）にて登録する。その後、各教員が Turnitin を利用する科目のコースを作成し、履修学生を登録する。なお、大学院担当として既にアカウントを登録している場合は、当該アカウントで学部科目のコースを作成することが可能である。

(2) 使用ルールの策定

前述したように、全学導入により利用範囲が拡大するため、厳格なアカウント管理を実施する必要があることから、コースの作成や学生の登録については、以下の全学統一ルールを適用したい。

1）コースの作成について

①コース名について

1 人の学生が多くのコースに登録される可能性もあることから、学生からも分かりやすいようにコース名も原則として履修科目名を使用し、以下の通り**「開講年度・開講セメスター・科目名（J 開講は日本語、E 開講は英語）」**の順に記載する。

例）2017SP Study Skills and Academic Writing
2018FA 多文化協働ワークショップ

②有効期間設定について

Turnitin は「稼動しているコースに登録された学生数」で年間の契約数が確定し、契約金が算出されるため、終了したコースを確実にクローズし、卒業生のアカウント等を稼動しているコース内に残さないなど、コースの有効期間を厳格に管理する必要がある。したがって、コースの有効期間を以下の通り設定し、**有効期間は 1 セメスター間**とする。

春セメスター開講科目：9 月 20 日まで	**秋セメスター開講科目：3 月 31 日まで**

なお、ゼミについては、1 人の学生が「専門演習 I 」から「卒業論文」まで同じ教員の担当になることが想定されるが、コース管理はあくまでセメスター単位で行うことを周知・徹底する。

2) 学生を登録する際のアカウント体系の統一

Turnitin を利用するためには、まず担当教員が Turnitin を利用する科目のコースを作成し、受講生を登録する必要がある。登録時に必要なのは、①名前（First Name）、②名字（Last Name）、③メールアドレスの 3 項目であるが、manaba 同様に Campusmate から取得できる情報で構成し、かつ休学・復学等の学籍異動が発生しても変更が生じることなく、卒業まで 1 人が 1 アカウントを保有する体系とすべく、各項目を以下に統一する。

Turnitin の入力項目	受講者一覧（英語版）の項目	入力内容の例
名前（First Name）	[2]Name(E)	LI Yan
名字（Last Name）	[6]User ID	yanli
電子メール（ユーザ名）	[7]Email	yanli@apu.ac.jp

留意点

① 英字での登録が必要であるため、Campusmate から受講者リストをダウンロードする際は、「言語」は「English」を選択した上、ログインする。

② 名字（Last Name）という項目は、万が一パスワードを忘れた場合に必要となる情報なので、必ず間違えないように登録する。

③メールアドレスは必ず APU ドメイン（@apu.ac.jp）のメールアドレスのみとし、個人所有のアドレスでは登録しない。

(3) ルールの周知ならびに確認方法について

今後は manaba と同様、利用を希望する教員が履修登録終了直後から利用を始められるように、上記で確定したコース作成や ID 体系を周知する必要がある。策定したルールについては教員懇等で周知する他、マニュアルや運用ルール等を manaba 上あるいは Campus Terminal 等に UP するなどしてルールの厳守を徹底する。

セメスター開始時は、特に現行セメスター以外のコースが稼動していないかを事務局で確認し、クローズする必要のあるコースについては、担当教員に速やかに変更を促す。

なお、大学院担当教員については、既存のルールでアカウント登録やコース作成が行われていることから、今セメスターについては現状の運用を継続し、2017 秋セメスターより、上記ルールを適用するものである。

以上